

# 新型コロナウイルス接種の正しい理解のために



現在、新型コロナウイルス対策として、ワクチンの接種が進んでいます。地域によっては、既に12歳以上の児童生徒へ接種券が届いているご家庭もあると思います。各ご家庭におかれては、ワクチン接種に対する正しい理解に基づいて、対応いただくとお願いいたします。

ワクチン接種に関する詳しい情報については、厚生労働省や埼玉県等の情報を参考にしてくださいほか、接種券を発行しているお住いの市町村にご確認ください。

## 厚生労働省ホームページ

### ■ 新型コロナウイルスについて

厚生省 コロナ ワクチン 検索



こんな情報が掲載されています

- 接種についてのお知らせ
- 有効性・安全性について
- わかりやすい資料
- 新型コロナウイルス Q&A

### ■ コロナワクチンナビ

\*新型コロナウイルスの接種会場や、どうやって接種を受けるかなど



## 埼玉県ホームページ

### ■ 新型コロナウイルス接種について

埼玉県 コロナ ワクチン 検索



こんな情報が掲載されています

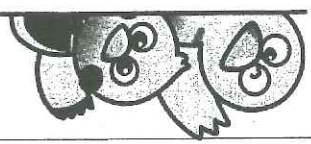
- 新型コロナウイルスの県内接種実績
- 新型コロナウイルス接種に関する差別等の防止について
- ワクチンの効果や接種後の副反応等について
- 新型コロナウイルスワクチン接種の副反応専門相談窓口 など
- よくある質問

## ワクチンとくちま

- ◇ 新型コロナウイルスは、発症や重症化の予防に効果があるとされています。
- ◇ 国は、ワクチン接種によるメリットが副反応のリスクより大きいとため、接種をおすすめています。ただし、接種は強制ではありません。
- ◇ 新型コロナウイルスは、全額公費（無料）で受けられます。
- ◇ ワクチンを受けるにはご本人の同意（16歳未満の場合は保護者の同意）が必要です。

## 【お知らせとお願い】

- 現在、国の方針では、学校での生徒への集団接種は行わないとの考え方が示されています。したがってワクチンは各市町村で接種を受けることとなります。
- 新型コロナウイルスの接種は、任意です。ワクチン接種を受けたくても受けられない人もいます。お互いに相手を思いやる気持ちを大切にしましょう。
- お子さんがワクチン接種を受ける場合や副反応が出た場合には、欠席扱いとはならない出席停止等の措置をとることができるので、学校に相談してください。
- ワクチンを接種したからといって、感染しなくなるわけではありません。引き続き、マスクの着用などの感染防止対策をお願いします。





教職員の皆様へ

# 新型コロナウイルス接種の正しい理解のために



現在、新型コロナウイルス対策として、ワクチンの接種が進んでいます。地域によっては、既に接種券が届いている教職員の方もいらっしゃると思います。

教職員の皆様におかれましては、ワクチン接種に対する正しい理解に基づいて、対応いただようお願いいたします。

ワクチン接種に関する詳しい情報については、厚生労働省や埼玉県等の情報を参考にしてください。ほか、接種券を発行しているお住いの市町村にご確認ください。

## 厚生労働省ホームページ

### ■ 新型コロナウイルスについて

厚生労働省 コロナ ワクチン 検索



こんな情報が掲載されています

- 接種についてのお知らせ
- 有効性・安全性について
- わかりやすい資料
- 新型コロナウイルス Q&A

### ■ コロナワクチンナビ

\* 新型コロナウイルスの接種会場や、どうやって接種を受けるかなど



## 埼玉県ホームページ

### ■ 新型コロナウイルス接種について

埼玉県 コロナ ワクチン 検索



こんな情報が掲載されています

- 新型コロナウイルスの県内接種実績
- 新型コロナウイルス接種に関する差別等の防止について
- ワクチンの効果や接種後の副反応等について
- 新型コロナウイルスワクチン接種の副反応専門相談窓口
- よくある質問 など

## 【お知らせとお願い】

- ワクチン接種を受ける場合や副反応が出た場合の服務の取扱いについては、服務監督権者である市町村委員会が所掌しており、詳細につきましては、各学校の管理職にお問い合わせください。

- 新型コロナウイルスの接種は、任意です。ワクチン接種を受けられない事情の方もあります。お互いに相手を思いやる気持ちを持ち、職場等で差別等が起らないよう配慮をお願いします。

- ワクチンを接種したからといって、感染しなくなるわけではありません。引き続き、マスクの着用などの感染防止対策をお願いします。



## ワクチンとくちまげ

- ◇ 新型コロナウイルスは、発症や重症化の予防に効果があると考えられています。
- ◇ 国は、ワクチン接種によるメリットが副反応のリスクより大きいいため、接種をおすすめしています。
- ◇ ただし、接種は強制ではありません。
- ◇ 新型コロナウイルスは、全額公費（無料）で受けられます。